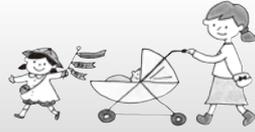


ノーモア・ミナマタを語り継ぎ、住みよいまちづくりを！

NPOみなまた



No.50 (2014年4月)



たて道まつり にぎやかに楽しく開催しました

今年3回目の開催です。

ご近所の皆さんや関係者の方々にご協力いただいで盛大に行うことが出来ました。ボランティアの皆さんによる、やきとり、綿菓子、お菓子、牛丼、ぜんざい、手作りジャム等々が出店。介護相談コーナーでの相談も受け付けました。小雨の一日でしたが、他施設の入居者様や地域の皆様との交流が深まりました。

グループホーム ふれあいの家



発行：NPOみなまた 発行責任者：藤野 紘 ☎867-0045 水俣市桜井町2-2-20

☎0966-62-9822 fax0966-62-1154 Eメール：npo@minamata.org <http://minamata.org/>

題字：江口 睦美

(カット：岡本あき)

川内原発の再稼働を許さない

弁護士 大毛 裕貴

平成26年3月13日、原子力規制委員会は13日、再稼働に向け審査中の10原発のうち、九州電力川内原子力発電所の安全審査を優先的に進めることを決めました。

このままでは、川内原発が再稼働第1号になってしまう可能性は非常に高いです。稼働させるという既成事実を作られることにより、全原発を廃炉にするという弁護団並びに原告団の目的が遠のいてしまいます。

また、新規性基準（新規性基準というのは市民の安全を確保するという観点からは作成されておらず、それ自体に問題があるのですが）に照らしても、川内原発の再稼働は非常に問題があります。

その状況にも係わらず、再稼働を認めてしまうということは、新規性基準でさえも骨抜きにされてしまうことを意味します。

川内原発の問題点というのは、ひとつではなく、様々な点に照らしていえることなのですが、今回は火山の点に注目して書かせていただきます。

よく、原発が破壊されるほどの規模で火山が爆発すれば、このあたりは全滅するので関係がないという人もいますが、それは違います。

人は逃げられますが、原発は逃げられません。

また、私たちには、子孫へきれいな大地を残すという義務があると思います。

火山の噴火だけであれば、いずれ環境は元に戻るでしょう。しかしながら、放射能による汚染は極めて広範囲に及ぶものですし、汚染された大地はよほどの時間をかけない限り元には戻りません。

どのような原因であれ、2度と福島のような事故があってはならないのです。

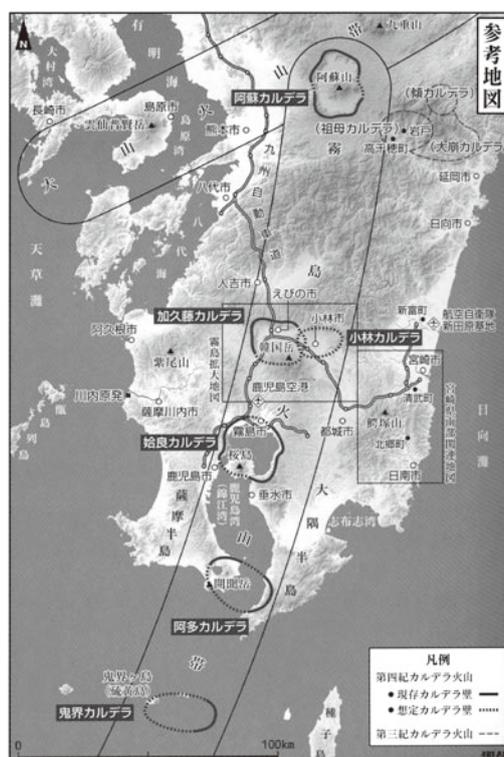
南九州には、右の図のように多くのカルデラがあります。

カルデラというのは、地殻の中で長い時間に蓄積された大量のマグマが、一気に噴出すし、マグマが抜けた空洞に地盤が凹みできたものです。そのマグマの量は100立方キロに及ぶこともあります。

つまり、カルデラというのは、大規模な噴火が起きた跡なのです。

大規模な噴火による火砕流が原子力発電所に及んだ場合、間違いなく原子力発電所は破壊されます。

そして、大規模な噴火はいつ起こるかわかりません。紙面の関係上詳しくは述べられませんが、上記のカルデラは、爆発したのは1回だけでなく、何万年かごとに爆発しているの



南九州のカルデラ
（『死都日本』より）

です。すなわち、超巨大噴火には、ある一定の時間間隔をおいて繰り返す「くせ」があるのです。

そして、その間隔は、一定ではなくまちまちであり、予想がつかないのです。

巨大噴火は、いつ起こるか分かりません。

原子力発電所が、火砕流によって破壊されるおそれは今現在存在しているのです。規制委員会が作成した原子力発電所の火山影響評価ガイドには、「原子力発電所の運用期間中に火山活動が想定され、それによる設計対応不可能な火山事象が原子力発電所に影響を及ぼす可能性が小さいと評価できない場合には、原子力発電所の立地は不適になる」とあります。

これに照らせば、間違いなく再稼働は許されないはずなのです。

うやむやのうちに再稼働がなされることを阻止する為、私たち弁護団は意見書を出すなりして、訴訟以外でも活動していく所存です。

みなさんもお協力をよろしくお願いいたします。

原発なくそう！九州玄海訴訟 「風船プロジェクト」全4回飛散結果より

「原発なくそう！九州玄海訴訟 風船プロジェクト実行委員会」は2012年12月8日（冬）、2013年4月14日（春）、同7月28日（夏）、10月27日（秋）の4回にわたって、玄海原発直近から風船を飛ばす実験を行いました。その趣旨は、玄海原発が事故を起こした場合、放射性物質がどのように拡散するのかを実証することにあります。以下の表は、2013年10月27日14：00に飛ばした500個の風船を発見された方々からの連絡及び発見された日時・場所の一覧です。発見連絡のあった48件中、何と34件が熊本県内だったのです。（詳しくは <http://genkai-balloonprojimdo.com/> にアクセスください。）

番号	連絡日時	発見日時	連絡場所	原発からの距離(約)	番号	連絡日時	発見日時	連絡場所	原発からの距離(約)
1	10/27 17:48	10/27 17:40	佐賀県杵島郡江北町大字佐留志字二本松	44km	25	10/30 14:40	10/28 08:00	福岡県みやま市高田町北新開	83km
2	10/27 17:48	10/27 17:43	佐賀県杵島郡大町大字大町杵島商高駐輪場	43km	26	10/28 11:12	10/28 午前	有明海(福岡県柳川市)	67km
3	10/27 18:00	10/27 17:57	佐賀県杵島郡江北町上小田	43km	27	10/30 21:05	不明	熊本県菊池市	109km
4	10/27 18:16	10/27 17:30	佐賀県杵島郡大町町福母「ひじり之湯」付近	41km	28	10/31 10:50	10/31 10:00	熊本県山鹿市久原	99km
5	10/28 08:55	10/27 17:00	佐賀県杵島郡江北町上小田	43km	29	10/31 11:32	10/28 10:00	熊本県山鹿市熊入町西田	97km
6	10/28 10:15	10/28 07:00	福岡県大牟田市市田隈	78km	30	10/31 12:30	10/31 10:00	熊本県山鹿市菊池町「あんずの丘」付近	102km
7	10/28 10:35	10/28 05:00	熊本県山鹿市方保田	100km	31	11/01 09:32	10/28 08:30	熊本県菊池市赤星 菊池霊園	109km
8	10/28 10:45	10/28 10:00	熊本県菊池市隈府 菊池南中テニスコート	108km	32	11/01 11:00	11/01 午前	熊本県山鹿市西牧	95km
9	10/28 00:55	10/28 09:00	熊本県阿蘇市 狩尾の原野	126km	33	11/01 14:40	11/01 午前	熊本県山鹿市鹿本町御宇田	100km
10	10/28 13:39	10/27 19:00	佐賀県武雄市北方町大崎	37km	34	11/01 15:37	11/01 11:00頃	熊本県山鹿市鹿本町津袋	102km
11	10/28 15:50	10/28 09:00	熊本県玉名郡和水町大屋	93km	35	11/02 14:10	10/29 頃	熊本市北区植木町清水	102km
12	10/29 09:10	10/28 09:00	熊本県阿蘇市一の宮町宮地 狩尾の山中	135km	36	11/01 11:42	不明	熊本県菊池市小木	106km
13	10/29 09:15	10/28 14:00	熊本県菊池市小木	106km	37	11/01 14:29	不明	熊本県庁	117km
14	10/29 10:00	10/28 10:00	熊本県阿蘇市狩尾	126km	38	11/05 15:05	11/05 昼頃	熊本県菊池市赤星	109km
15	10/29 11:45	10/29 10:30	熊本県山鹿市鹿央町千田	97km	39	11/08 09:38	11/02	唐津市名護屋小学校付近	2km
16	10/29 12:20	10/29 08:00	熊本県玉名郡和水町大田黒	87km	40	11/08 10:00	10/31 午前	熊本県山鹿市鹿央町岩原	99km
17	10/29 12:20	10/29 08:00	熊本県玉名郡和水町大田黒	87km	41	11/08 10:23	11月はじめ	熊本県山鹿市鹿央町岩原	99km
18	10/29 14:55	10/28 06:00	熊本県阿蘇市波野大字波野	142km	42	11/09 12:33	11/09 朝	佐賀県小城市芦刈町永田宇弁財	50km
19	10/29 17:20	10/29 16:00	熊本県山鹿市菊池町下内田	102km	43	11/15 11:55	11/10 朝	熊本県菊池市藤田	111km
20	10/29 17:20	10/29 17:00	熊本県山鹿市菊池町下内田	102km	44	11/16 09:43	11/16 09:43	熊本県玉名郡南関町豊永	89km
21	10/30 07:51	10/29 夕方	佐賀県杵島郡江北町八町	45km	45	11/18 17:55	10月末の昼頃	福岡県みやま市高田町昭和開	75km
22	10/30 10:20	10/28 13:00	佐賀県杵島郡白石町大字福田	46km	46	11/27 12:55	11/27 12:20	熊本県菊池市小木	106km
23	10/30 13:10	10/30 朝	熊本県阿蘇市一の宮町中通	134km	47	12/02 11:40	2~3日前	熊本県山鹿市来民	102km
24	10/30 13:40	10/30 09:30	熊本県玉名郡南関町	83km	48	12/04 13:00	12/04 13:00	熊本県菊池市 鞍岳山	109km

ノーモア・ミナマタ第2次訴訟 4陣提訴に全九州から終結

全労連九州ブロック協議会

議長 榎本 光男

4月3日、熊本地方裁判所の門前に、九州各地から駆けつけた5台の宣伝カーが並んだ。いま、その全面解決に向けて大きなうねりが求められているノーモア・ミナマタの闘いを象徴するように、裁判所前がいつにも増して大変な熱気に包まれた。

全労連九州ブロック協議会、つまり九州各地の県労連が、ノーモア・ミナマタ第2次訴訟の応援のために、この第4陣提訴に合わせて集結したわけだ。

全労連九州ブロックはこれまで、毎年夏に行われる水俣病現地調査の事前オルグなどに協力してきた。九州各地の県労連が窓口となり、各県の労働組合や民主団体、法律事務所などを、原告のみなさんと支援のみなさんと一緒に回る、その案内役を九州ブロックとして引き受けてきた。去年は、九州ブロックとして、代表が現地調査にも参加し紹介もしていただいた。

細かな法律論や医学的な話はともかく、公式発見から半世紀を超え、やがて60年にもなるのに解決をしていないこの異常さ…。国策と企業の利益のために、住民の「いのちと健康と暮らし」が奪われたにもかかわらず、その加害者が被害者を選別しているということの異常さ…。当時、不知火海沿岸等に住んでいた住民が、その後全国に移り住んだことにより、水俣病の被害者がその地域だけでなく、全国に散らばっていることへの驚き…。そして、目の前で症状の事実があるにもかかわらず、次から次に「非該当」とされる特措法の理不尽さ…。

わたしはまず、水俣病問題が、水俣という一地域の問題ではなく、大きな「国民的な課題」である

ということを強調したいと思う。そのとき、もうひとつの大きな国民的課題である、福島原発事故の問題と重ね合わせることが、重要であると訴えたい。「フクシマ」が、「ミナマタ」とまったく同じ構造の問題であること…。「フクシマ」の未来のためには、「ミナマタ」がしっかりと正しく解決されることが、絶対条件であるということ…。このことを大きく国民に訴え、「国民的視点」で、この水俣病問題を語っていくことが、わたしたち労働組合にも求められていると考える。

全労連九州ブロック協議会として、これまで以上に、水俣病被害者の全面救済のために声を上げ、全国に大きく発信していきたい。

今後ともよろしくお願いします！



第5回 日本認知症グループホーム熊本大会

「認知症でもよかたい。安心しなっせ。」をテーマに

第5回 日本認知症グループホーム熊本大会

実行委員長 高橋 恵子

私が、グループホームをはじめたきっかけは、ある病院で見かけた機関紙の表紙の写真です。縁側で、くつろぐ認知症のおばあちゃん達とスタッフ。笑顔が一杯で、あたたかい日差しが心地良さそうでした。見学に行った時も大変親切で、今も交流が続いています。それがNPOみなまたのグループホームです。

私は、故郷の農山村やそこに住む人達が大好きで、母の生まれ故郷で、民家改修型のグループホームを運営しています。同じように、九州各県のグループホームの仲間達が、それぞれのホームの所在地で、認知症の人の幸せを願いつつ、地域住民と共に生きています。

認知症グループホームが、地域に住む認知症の人や家族の思いに応えようとたゆまぬ努力を続けると、徐々に地域で認知症の理解が進み、日々の暮らしの中で住民と交流し、教育や農業、防災分野の意識が高まります。そうして、波動が広がるように、その思いが生きもののように、地域社会の中で拡散と集中を繰り返し、福祉のまちづくりとして結集していきます。これが、私たちが目指す地域共生です。グループホームは、本来、地域や小社会を変えていく原動力なのです。

この秋、熊本で、日本認知症グループホーム大会が開催されます。現在、本部や九州の各支部と協力しながら、全国からお越しになる皆様のお顔を思い浮かべ、粛々と大会の準備を進めております。

大会テーマの「認知症でもよかたい。安心しなっせ。」には、「認知症の人やその家族が、不安になるのではなく、住み慣れた地域のグループホームで、地域住民と交流しながら、安心して暮らせるように」という強い思いが込められました。グループホームが本来の機能である認知症の人を支える地域拠点となるためには、地域住民との交流、医療と介護の連携、行政との協働が必要です。

さらに、認知症の人の安寧だけではなく、働くスタッフの働きがいも、健全経営も経営者や管理者の課題であり、同時に介護労働やグループホームケアに対する社会的理解が深まることが重要です。是非、みなまたはもとより全国の皆様の主体的な参加をお待ちしています。



～第5回 日本認知症グループホーム大会～

日 時：平成26年9月26日（金）・27日（土）

会 場：市民会館崇城大学ホール（熊本市市民会館）

主 催：公益社団法人 日本認知症グループホーム協会

在宅医療の普及を目指して

水俣芦北在宅医療連携拠点事業所

主任 栄永 徳博

昨年12月、水俣市芦北郡医師会（会長緒方圭治）は、医療と介護等を連携しながら在宅医療の普及を目指すため、水俣芦北在宅医療連携拠点事業所（同事業所）を設置しました。

事務所は医師会立やすらぎ苑（水俣市浜4051番地）の中にあり、山口継男所長（ケアマネジャー）と二人で取り組んでいます。

目的は、在宅医療を提供する機関等を連携拠点として、地域の医師、歯科医師、薬剤師、看護職員、ケアマネジャーなどの多職種協働による在宅医療の支援体制を構築し、地域における包括的な在宅医療を目指すことです。

主な事業としては、多職種の連携、在宅医療従事者の負担軽減の支援、地域住民への普及啓発などです。



現状の把握…

現在、医師会の中でアンケートを行い在宅医療に対する意向について調査中です。

先日は、水俣市地域包括支援センターと共催で多職種連携のための事例検討会を開催しました。

水俣や芦北地域の保健・医療・介護・福祉関係者の定例会議に出席して同事業所の紹介をおこない、多くの皆様に同事業所の周知を図っています。

すばらしい講演会…

水俣協立病院が主催された「在宅医療・介護のあり方を考える」講演会（2月15日、市公民館）にも出席しました。

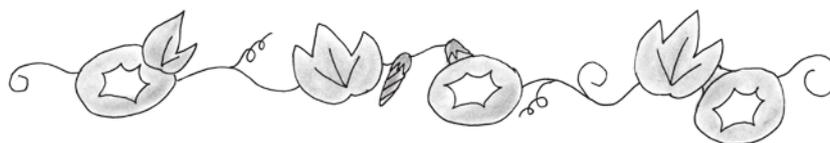
重岡伸一先生の基調講演では、在宅医療は本人の思いや家族の思いをしっかりと確認すること。訪問看護師は現場でのキーワードなど、多いに参考になりました。そして、介護者の事例発表も印象に残りました。

会場から、医師会の取組みに対して質問があり、突然、私たちが回答する場面もあり、同事業所を知っていただく機会を与えていただきました。この紙面をかりてお礼申し上げます。

高まる在宅医療…

在宅医療の需要は、今後ますます高まってきます。一人でも多くの皆様が「安心、このまちに住んで良かった」と言えるまちになるよう取り組みます。

皆様の在宅医療に対するご理解とご協力をお願いします。



「在宅医療・介護を考える会」

～その人らしく安心して暮らせるために～

水俣協立病院総師長 森下 孝子

去る2月15日、水俣市の公民館に於いて「在宅医療・介護を考える会」を開催しました。会の目的は、①これからの在宅療養について地域の方達の思いを知る②私たちの行っている医療介護活動の紹介及び今後の取り組みについて知っていただく③地域住民の皆さんと医療福祉関係者との連携を図る場とする④町づくりの一環として位置づけるとし、重岡副院長の講演や訪問看護師、ケアマネージャー、施設の職員の方、在宅看取りに関わってこられたヘルパーさん、81歳の妻を自宅で介護している93歳の男性の方達等から現場の生の声を伺うことができました。



参加は214名（内職員81名）、職員以外では医療介護の関係者27名のほか、106名が地域の方達でした。参加された方達からは、「色々な人が関わって在宅療養が実現する。それぞれの職種の関わり方など初めて知ることも多く有意義だった」、「患者さんや家族の思いに寄り添えるように連携をとっていきたい」、「今後、介護保険を利用していかないといけない時など安心して相談できる場所があることはとても心強い。そういう場所が近くにあることはとても助かる」等の感想が寄せられ、概ね有意義な取り組みであったとの評価をいただきました。

わたしたちの病院は、お金のあるなしに関わらず、必要な医療・介護が連携して同時にかつ切れ目なく保障される無差別・平等の「地域包括ケア」を目指しています。これまで築き上げてきた実践を踏まえて、今後も変わらない姿勢を貫いていきたいと思っています。

演奏会を楽しみました

3月20日日曜日の午後に、さくら薬局の薬剤師さんたちによるマンドリン演奏会が開かれました。

マンドリン、マンダラの音色に入居者の方、職員もとても癒されました。また、曲の方も、入居者の皆さんが良く知っている童謡でしたので、曲に合わせて唄う事もでき、とても楽しんでおられました。

薬剤師の皆様、お忙しい中本当にありがとうございました。

また、次回の演奏会を楽しみに待っています。

キトさん家 管理者 棚橋 慶



毎週水曜日は調理デイです！

ふれあいの家の入居者の皆さん。お元気な方が増えました。これだけ元気な方が揃うのは初めてです。

これまでも、好きな方には盛りつけや野菜の皮むきなど調理をお願いしていましたが、近年はとんとご無沙汰でした。そこで、まずは挑戦してみようと、「調理デイ」をつくり職員がマンツーマンで対応することにしました。

今日はカレーライスです。5名の方にそれぞれ包丁、まな板を用意し、野菜切りをお願いしてみました。さすがは元主婦！！。皆さん見事な包丁さばき

です。「ハイ、次はなんば切ればよかと？」、「もうなかつかい？」。大きさは不揃いですが、じゃんじゃんはかどります。握力の弱い方には小松菜を切っていただき、腰の曲がった方には低いテーブルを用意と職員も大忙しです。煮るときは、皆さんよってたかって「まだかまだか」と何度もお鍋をかき混ぜます。いつもならお昼寝タイムの方も出来上がるまで気になるのでしょうか。そばでじっと監視。味にうるさい「炊事軍曹」が「も、ちっと塩ば入れんば」と職員に指示を出します。そして、普段は口げんかをするお仲間同士が、このときばかりは仲良く協力し合って調理をされるのには驚きでした。

恐る恐る始めた「調理デイ」でしたが、時々、脱線しながらも何とか順調に進んでいます。肉じゃが、お好み焼き、豚汁…とメニューも増えました。さて、来週は何が出来るかな？



ふれあいの家 坂本 昭子（介護福祉士）

活動日誌（2014年1月～4月）

NPOみなまた

- 1月9日 介護部会・協立病院連携会議（毎月第一木曜定例）
- 11日 水俣病事件研究会（～12日）
- 12日 地域フォーラム「これからの地域密着サービスを考える」
- 16日 不知火患者会新春総決起集会
- 17日 事務局会議（毎月第一・第三金曜定例）
- 2月3日 キトさん100才お祝い（キトさん家）
- 4日 開設者研修（14日も、於：熊本市）
- 6日 ふれあいの家、外部評価
- 12日 理事会
- 15日 シンポジウム「在宅医療・介護問題を考える」水俣市
- 20日 会計セミナー（玉名市）
- 21日 職員集会
- 3月17日 三郎の家外部評価
- 19日 理事会
- 20日 事例検討会（水俣市体育館）
- 管理者研修（熊本市）
- 24日 キトさん家、外部評価
- 26日 熊本県グループホーム連絡協議会
- 27日 三郎の家、運営推進会議
- 30日 ふれあいの家、たて道まつり
- 4月16日 理事会
- 23日 キトさん家、運営推進会議

◇お知らせ◇

NPOみなまた定期総会

日時：6月14日（土）14時～

場所：法人事務所 3階会議室

「私たちの求める救済制度」水俣病連続シンポ

日時：5月24日（土）14時～

場所：水俣市もやい館

シンポジスト：板井優弁護士・園田昭人弁護士

藤野紘医師・小宮山和彦弁護士

水俣病現地調査

日時：8月23日（土）・24日（日）

場所：鹿児島県伊佐市大口

編集後記…

「特養待機者急増」、「介護 深刻な人手不足」と介護・医療問題が連日のようにマスコミで取り上げられています。国の示す介護保険制度改革の中身。老後の安心ではなく不安がつる「改革」が目白押しです。より良い制度にするために多くの皆さんと手をつなぎましょう。